

10-2 国際コミュニケーション学科

1 教育理念と人材育成の目的

国際コミュニケーション学科では、高い外国語コミュニケーション能力、および多文化を理解し、それに対応できる異文化コミュニケーション能力を有する「グローバル人材」を育成する。そして、観光インバウンドを中心に急速に国際化が進む日本、特に北海道において多様な社会文化的背景を持った海外からの来訪者をもてなす心及び海外と地域の人と人をつなげるための知識を身につけることで、多文化共生社会を構築し、地域の発展に貢献できる高い国際コミュニケーション力を持つ「グローバル人材」を育成することを目的とする。

2 3つのポリシー

(1) 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

国際コミュニケーション学科は、履修規定によって必要単位を取得し、必要な修業年限を満たしたうえで、次の能力を身につけていると認められた学生に「学士（国際学）」を授与します。

- ・社会性・実用性・キャリアを意識した言語使用に主眼をおいた英語、日本語および中国語の使用を前提とする複言語教育を通じた高度な運用能力および情報分析・発信力を身につけている（知識・技能）。
- ・世界と地域の視点から、自然環境、社会、文化、歴史等についての高度な専門知識、およびそれらを活用する技能を身につけている（知識・技能）。
- ・北海道、日本および世界諸地域の課題に対応できる情報処理や分析の能力、論理的・批判的な思考や判断をする能力を身につけている（思考・判断・表現）。
- ・世界各地域の活性化という課題につなげるための異文化コミュニケーション能力を身につけている（思考・判断・表現）。
- ・生涯にわたって主体的に学び続ける意欲、および世界と地域の進歩・発展に寄与するための価値観を身につけている（関心・意欲・態度）。
- ・グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や柔軟で前向きなコミュニケーション能力を備えている（関心・意欲・態度）。
- ・世界とつながるために地域社会を理解し、その活性化に向けて発信できる国際感覚を身につけている（関心・意欲・態度）。

(2) 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

国際コミュニケーション学科は「グローバル人材」と「グローバル人材」の素養を併せ持つ「国際教養人」の育成のため、「全学共通科目」、「学部共通科目」、「国際コミュニケーション科目」、「キャリア形成」、「語学研修」、「卒業研究」を編成します。

① 教育内容

(知識・技能)

- ・社会性・実用性・キャリアを意識した言語使用に主眼をおいた英語、日本語および中国語の使用を前提とする複言語教育を通じた高度な運用能力および情報分析・発信力を身につけるための「言語プロフェッショナル科目群」および「実用日本語科目群」を配置し、ビジネスや観光場面を中心とした言語使用に焦点をあてた英語と中国語の運用能力、および日本語を含めた情報分析・活用能力を養成する。
- ・世界と地域の視点から国際社会と地域社会を捉える「国際・異文化コミュニケーション科目群」を配置するとともに、地元地域について学び、地域振興や地域貢献、またキャリア意識にもつなげる「北海道スタディーズ科目群」を配置する。

(思考・判断・表現)

- ・学生の主体的な学びを引き出すために、ニセコ国際研修、短期語学研修、インターンシップ（国内外）、アウトドア・ツーリズムなどの体験的な学修活動の充実を図る。また学科の専門科目などを通じた学習を基に、自分が専門的に研究するディシプリンを定めた上で各種の情報を収集分析し、課題解決へ導くために自ら発信・行動する「卒業研究プロジェクトⅠ～Ⅱ」を配置する。
- ・課題実行のための異文化理解力と異文化コミュニケーション力を高める「国際・異文化コミュニケーション科目群」を配置する。

(関心・意欲・態度)

- ・生涯にわたって主体的に学び続ける価値観を身につけるための「社会人基礎力科目群」、および世界と地域の進歩・発展に寄与するための価値観を身につけるための関連科目（「世界と北海道」「ニセコ国際研修」「地域連携プロジェクト」などの「北海道スタディーズ科目群」）を配置する。
- ・グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や柔軟で前向きなコミュニケーション能力を身につけるための各科目（「English for Study abroad」「中国語コミュニケーション」「国際コミュニケーション演習」「異文化理解論」「日本語表現技法Ⅰ（プレゼンテーション）」などの表現・コミュニケーション系科目）、および社会人・職業人一般としての倫理観、使命感を身につけるためのキャリア関連科目を配置する。

② 教育方法

- ・人材養成の目的に則して、講義形式の授業の他に、学生の主体的な学びを引き出すために、少人数授業、習熟度別授業、双方向的・学生参加型授業、課題解決・探求型授業、ICTを活用した授業などのアクティブ・ラーニングを実践する。
- ・研修（国内外）、海外留学、インターンシップ（国内外）、アウトドア・ツーリズムなどの体験的な学修活動の充実を図るなど、教育方法の質的転換を図る。
- ・外国人教員による授業の比率を高め、外国語学修環境を提供する。
- ・学生面談などの授業時間外での学修指導の充実を図る。

③ 教育評価

- ・シラバスに明示された各科目の到達目標、学修内容、準備学修の内容・時間、成績評価の方法・基準に基づいて客観的に評価する。
- ・海外留学・研修、インターンシップは研修地での評価にもとづき単位認定を行う。

(3) 学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

求める学生像

国際コミュニケーション学科はグローバル化が進む社会において不可欠な国際的な視点から、グローバル社会の課題を解決するとともに、北海道を愛し、世界に発信できる意欲をもつ次のような人材を求めます。

(知識・技能)

- ・英語の高等学校卒業相当の知識を有している人。
- ・基礎・基本的な知識・技能を習得するための勉学の習慣を持っている人。

(思考・判断・表現)

- ・国際社会および地域社会で活躍するための基礎となる知識・技能、および課題を解決するための基礎的な思考力・判断力・表現力を持っている人。
- ・国際社会および地域社会の課題実行のためのコミュニケーション能力の必要性を理解し、その基礎能力と志向を持っている人。

(関心・意欲・態度)

- ・生涯にわたって学び続ける意欲を持っている人。
- ・外国語による世界理解と自己表現が可能な言語能力の獲得に、強い意欲を持っている人。
- ・北海道と世界に強い関心を持ち、課題に取り組む意欲を持っている人。
- ・自らの将来において、海外生活や地域の現場で協働する意欲を持っている人。

3 教育課程の構成と概要

(1) 教養科目

教養科目は全学共通科目・学部共通科目・キャリア形成（社会人基礎力）で構成されている。

全学共通科目は、人生や学びの意味、国家制度の基本、健康、教養人そして職業人として欠かせない情報処理と分析能力を養う。学部共通科目（共通外国語）においては、英語と中国語の言語運用能力の向上を目指し、さらには教養としての副言語（フランス語・朝鮮語・ロシア語）を学習する。学部共通科目（北海道スタディーズ）では、自然環境、社会、文化、歴史を通して、地域と世界のつながりや地域活性化における産業のあり方などを、「学部共通科目」領域の「北海道スタディーズ」科目群の科目を通して学習する。

(2) 専門科目

専門科目は国際コミュニケーション科目・キャリア形成（実用日本語）・語学研修・卒業研究で構成されている。

国際コミュニケーション科目では、ビジネス場面や観光分野での言語使用に焦点をあてた英語と中国語を学習し、身につけた外国語能力を実際の社会で実践する力を養う。キャリア形成（実用日本語）では、職業人としての基礎となる母語である日本語の言語能力を養う。語学研修Ⅰ～Ⅳは、必修の短期語学研修・私費留学・交換留学とは別に本学と協定する海外の教育機関において、言語に関する所定の受講修了時間数または取得単位を本学での単位として認定するものである。卒業研究では、多様な社会文化的背景を持つ留学生と日本人学生とが、協働して課題発見・解決していく能力を養成する学修機会を設けている。

4 履修の方法

国際コミュニケーション学科を卒業するためには、必修科目35単位を含め、全学共通科目領域から8単位以上、共通外国語科目群から10単位以上、北海道スタディーズ科目群から5単位以上、国際コミュニケーション科目領域から40単位以上、キャリア形成領域から20単位以上、語学研修から2単位以上、卒業研究から4単位を修得し、124単位以上を修得しなければならない。

科目区分		必要単位数
全学共通科目		8
学部共通科目	共通外国語	10
	北海道スタディーズ	5
国際コミュニケーション科目	言語プロフェッショナル科目	40
	国際・異文化コミュニケーション科目	
キャリア形成	社会人基礎力	20
	実用日本語	
語学研修		2
卒業研究		4
合計		124

5 免許・資格取得を目的とする場合

(1) 教職免許（教職課程については127～129ページを参照）

国際コミュニケーション学科では教育職員免許法に基づき、免許状授与の所要資格を得させるための課程認定を受けており、卒業単位の他に定める科目の所要の単位を取得することにより次の教職免許状を取得できる。

- ・中学校教諭1種（英語）
- ・高等学校教諭1種（英語）

(2) 日本語教員資格

本学が定める大学日本語教員養成課程に必要な科目表に基づいて、日本語教員養成課程の修了者には「大学日本語教員養成課程修了証」を授与します。

大学日本語教員養成課程修了証の取得には、4年間で次表の科目から必修31単位、選択必修21単位以上を修得することが必要である。

なお、3年次修了時に日本語教員試験に「仮合格」になった者は、4年次科目の「日本語教育実践演習」も単位取得すること。

国際コミュニケーション学科 「日本語教員養成課程」 修了に必要な科目・単位数

領域	区分	下位区分	科目名	単位	単位要件	
コミュニケーション	社会・文化に関わる領域	社会・文化・地域	①世界と日本	世界と北海道	2	選択 4単位以上
			②異文化接触	北海道の社会と文化（多文化共生）	2	
			③日本語教育の歴史と現状	日本語と日本文化	2	
			その他	中華圏の文化 日中文化比較	2 2	
	教育に関わる領域	言語と社会	④言語と社会の関係 ⑤言語使用と社会 ⑥異文化コミュニケーションと社会 その他	現代日本語論	2	○
				日本語ビジネスライティング	2	○
				国際コミュニケーション論	2	○
				World Englishes ビジネス中国語	2 2	選択 2単位以上
	言語に関わる領域	言語と心理	⑦言語理解の過程 ⑧言語習得・発達 ⑨異文化理解と心理 その他	ことばと心理（外国語学習法入門）	2	○
				国際コミュニケーション演習	1	○
		言語と教育	⑩言語教育法・実習	日本語教育法Ⅰ	2	○
				日本語教育法Ⅱ	2	○
				日本語教育演習Ⅰ	1	○
				日本語教育演習Ⅱ	1	○
				日本語教育実践演習*	1	*
		⑪異文化間教育とコミュニケーション教育	コミュニケーション学概論	2	○	
			異文化理解論	2	選択	
			異文化コミュニケーション論	2	2単位以上	
		⑫言語教育と情報 その他	統計の基礎	2	選択 3単位以上	
			数理・データサイエンス・AI入門	1		
数理・データサイエンス・AI実践 情報処理			1 2			
⑬言語の構造一般		Introduction to English Linguistics	2	選択 2単位以上		
		日英対照言語学	2			
⑭日本語の構造		日本語学	2	○		
	日本語音声学	2	○			
	世界の言語と日本語	2	○			
	日本語の表記と語彙	2	○			
	日本語表現技法Ⅰ	2	○			
	日本語表現技法Ⅱ	2	○			
⑮言語研究	English Linguistics	2	選択 2単位以上			
	英文法研究	2				
	英語翻訳法	2				
	英語通訳法Ⅰ	2				
⑯コミュニケーション能力 その他	日本語コミュニケーション技法	2	○			
	総合中国語Ⅰ	2	選択 4単位以上			
	総合中国語Ⅱ	2				
	朝鮮語Ⅰ	2				
	朝鮮語Ⅱ	2				
	フランス語Ⅰ	2				
	ロシア語Ⅰ	2				
計		52単位以上				

※「○」印は必修。

3年次4月に「日本語教員養成課程」登録を行うので、所定の申込方法にしたがって課程登録すること。ただし、登録は2年次修了までに、本課程に必要な科目を開講年度に単位取得した上で、「社会・文化に関わる領域」で2単位以上、「教育に関わる領域」で2単位以上、「言語に関わる領域」で26単位以上、計30単位以上を取得し、4年次に修了要件科目の単位取得見込みであることが課程登録の条件となる。

*なお、3年次修了時に日本語教員試験に仮合格した者は、4年次に「日本語教育実践演習」を必ず単位取得すること。

6 国内異文化体験の研修について

国内にある国際的な環境での異文化体験、国際交流を通じた異文化コミュニケーション体験により、地域の多様性への気づき、自己発見の機会となる研修活動を重視し、国内外の研修を整備している。

特に、北海道をフィールドにして豊かな自然を生かしたライフスタイルや異文化環境、地域活性化について体験的な学びを行うことを目的として、1年次の選択必修科目の「ニセコ国際研修」と選択科目の「アウトドア・ツーリズム研修」を設けている。

(1) ニセコ国際研修

北海道にしながら、異文化体験ができる後志地域の特性を利用して、現地でのインターンシップや通訳ボランティア活動、国際交流、そして地域交流などを融合させた「ニセコ国際研修」を1年次の選択必修科目として実施する。

(2) アウトドア・ツーリズム研修

実際のアウトドア・スポーツの体験を通して、北海道の観光産業におけるアウトドア・スポーツ観光の開発とその観光プロモーションを考え、現地に宿泊しながら実施する。

7 海外体験について

国際交流を通じた異文化体験により、自己研鑽、自己発見の機会となる体験活動により、語学力向上及び国際舞台で活躍するための素養を身につけるとともに、日本人としての誇りとアイデンティティを再認識することの大切さに繋がる貴重な経験の機会となる留学制度を設けている。

(1) 短期語学研修

早期の外国語学習の動機付けと、海外での異文化体験や異文化接触により、世界における自分自身と日本の立ち位置を再認識し、国際社会で活躍するための体験的素地を形成することを目的に、「短期語学研修」を2年次に必修科目として実施する。

(2) 私費留学

英語圏及び中国語圏の協定校での語学研修プログラムに参加する留学プログラム等である。

(3) 交換留学

本学の海外協定校等において語学学習と異文化体験、及び協定校で開講されている正規の授業を受講し、語学力や知識を身につけること、コミュニケーション能力やチャレンジ精神、積極性、行動力を身につけることで、これまでの学習成果を確認し、新たな課題を見つけ、今後の学習への動機づけとすることを目的としている。

8 進級要件について

1・2年次の必修科目等、基礎的学習事項の定着を図り、卒業までの発展・応用への自律的学びを身につけてもらうことを目的として、進級要件を設けている。

(1) 2年生から3年生への進級

原則として、2年次終了時に、卒業要件単位のうち、卒業必修31単位（選択必修2単位を含む）を含む計62単位以上修得することを3年次進級の要件とする。

イ 国際コミュニケーション学科

分野	科目名	区分	単位数	配 及 当 年 学 期	卒業必修	中学校	高等学校		
全学共通科目	基礎科目	総合教養講座	講	2	1 前	必修			
		日本国憲法	講	2	1 後		必修	必修	
		生涯スポーツⅠ	演	1	1 前		必修	必修	
		生涯スポーツⅡ	演	1	1 後		必修	必修	
		情報処理	講	2	1 前		必修	必修	
		数理・データサイエンス・AI入門	講	1	1 後	必修			
		数理・データサイエンス・AI実践	講	1	1 後				
		統計の基礎	講	2	1 後				
		グローバル・フィールド・スタディーズⅠ	実	2	— —				
		グローバル・フィールド・スタディーズⅡ	実	2	— —				
		グローバル・フィールド・スタディーズⅢ	実	2	— —				
		グローバル・フィールド・スタディーズⅣ	実	2	— —				
学部共通科目	共通外国語	English I (Speaking & Listening)	演	1	1 前	必修	選択必修A	選択必修A	
		English II (Reading & Writing)	演	1	1 後	必修			
		ことばと心理 (外国語学習法入門)	講	2	1 前	必修	必修	必修	
		English for Study abroad	講	2	1 後	必修	必修	必修	
		グローバルチャレンジ(海外留学・ボランティア対策)	講	2	1 前				
		中国語入門Ⅰ	演	1	1 前	必修	選択必修B	選択必修B	
		中国語入門Ⅱ	演	1	1 後	必修			
		日本語Ⅰ	演	1	1 前				
		日本語Ⅱ	演	1	1 前				
		日本語Ⅲ	演	1	1 前				
		アカデミックジャパニーズⅠ	演	1	1 後				
		アカデミックジャパニーズⅡ	演	1	1 後				
		アカデミックジャパニーズⅢ	演	1	1 後				
		総合中国語Ⅰ	講	2	2 前				
		総合中国語Ⅱ	講	2	2 後				
		中国語コミュニケーション	講	2	2 前				
		中国語リスニング	講	2	2 後				
		総合中国語Ⅲ	講	2	3 前				
		総合中国語Ⅳ	講	2	3 後				
		朝鮮語Ⅰ	講	2	3 前				
		朝鮮語Ⅱ	講	2	3 後				
		フランス語Ⅰ	講	2	3 前				
		フランス語Ⅱ	講	2	3 後				
		ロシア語Ⅰ	講	2	3 前				
		ロシア語Ⅱ	講	2	3 後				
		北海道スタディーズ	世界と北海道	講	2	1 前	選択必修		
			ニセコ国際研修	実	2	1 後	選択必修		
アウトドア・ツーリズム研修	実		2	1 前					
北海道の食文化	講		2	2 後					
北海道の社会と文化 (多文化共生)	講		2	2 後					
地域連携プロジェクト	講		2	3 後					
国際コミュニケーション科目	言語コミュニケーション科目	Basic Oral Communication	講	2	1 前	必修	必修	必修	
		English Written Communication I	講	2	1 後	必修	必修	必修	
		Networking Communication	講	2	1 後				
		World Englishes	講	2	2 前				
		日本語音声学	講	2	2 前				
		English Written Communication II	講	2	2 後				

分野	科目名	区分	単位数	配 及 年 次	期 学 期	卒業必修	中学校	高等学校	
国際コミュニケーション科目	言語プロフェッショナル科目	English Reading	講	2	2	後			
		TOEIC Preparation I	講	2	1	前			
		TOEIC Preparation II	講	2	2	前			
		Introduction to English Linguistics	講	2	2	前		必修	必修
		English Literature I	講	2	2	前		必修	必修
		English Literature II	講	2	2	後		必修	必修
		Integrated English Communication skills	講	2	3	前			
		English for workplace communication I	講	2	3	前	必修		
		English for workplace communication II	講	2	3	後			
		English Linguistics	講	2	3	後			
		英語通訳法 I	講	2	3	前			
		英文法研究	講	2	3	前		必修	必修
		英語翻訳法	講	2	3	後			
		英語通訳法 II	講	2	4	前			
		日英対照言語学	講	2	4	後			
		中国語基礎 I	演	1	1	前	必修	選択必修B	選択必修B
		中国語基礎 II	演	1	1	後	必修		
		初級中国語 I	講	2	1	後			
		初級中国語 II	講	2	1	後			
		中国語リーディング	講	2	2	前			
	中国語ライティング	講	2	2	後				
	HSK中国語	講	2	3	前				
	朝鮮語Ⅲ	講	2	4	前				
	朝鮮語Ⅳ	講	2	4	後				
	国際・異文化コミュニケーション科目	コミュニケーション学概論	講	2	1	前	必修		
		国際コミュニケーション論	講	2	2	前	必修		
		国際コミュニケーション演習	演	1	2	前			
		English for Tourism Hospitality	講	2	1	前			
		観光中国語	講	2	2	後			
ビジネス中国語		講	2	3	前				
エアポート中国語		講	2	3	後				
エアラインビジネス		講	2	2	後				
異文化接触論		講	2	1	前				
異文化理解論		講	2	1	後		必修	必修	
中華圏の文化		講	2	2	前				
日中文化比較		講	2	3	前				
異文化コミュニケーション論		講	2	3	前		必修	必修	
ホスピタリティマネジメント	講	2	3	後					
キャリア形成	社会人基礎力	キャリア入門	講	2	1	前	必修		
		キャリアデザイン	講	2	3	前			
		経営マネジメント	講	2	3	前			
		マーケティング論	講	2	3	後			
		インターンシップ	講	2	2	後			
		ファイナンシャルプランニング	講	2	3	前			
		公務員講座Ⅰ	講	2	2～3	後			
		公務員講座Ⅱ	講	2	2～3	後			

分野	科目名	区分	単位数	配当年次 及び学期		卒業必修	中学校	高等学校	
キャリア形成	実用日本語	日本語表現技法Ⅰ（プレゼンテーション）	講	2	1	前	必修		
		世界の言語と日本語	講	2	1	前			
		日本語表現技法Ⅱ（文章表現）	講	2	1	後	必修		
		日本語の表記と語彙	講	2	1	後			
		日本語コミュニケーション技法	講	2	2	前			
		日本語学	講	2	2	後			
		日本語と日本文化	講	2	2	前			
		日本語ビジネスライティング	講	2	3	後			
		現代日本語論	講	2	3	前			
		日本語教育法Ⅰ	講	2	2	前			
		日本語教育法Ⅱ	講	2	2	後			
		日本語教育演習Ⅰ	演	1	3	前			
		日本語教育演習Ⅱ	演	1	3	後			
		日本語教育実践演習	演	1	4	前後			
語学研修	短期語学研修	実	2	2	前	必修			
	語学研修Ⅰ	実	2	—	—				
	語学研修Ⅱ	実	2	—	—				
	語学研修Ⅲ	実	2	—	—				
	語学研修Ⅳ	実	2	—	—				
研究	卒業研究プロジェクトⅠ	演	2	4	前	必修			
	卒業研究プロジェクトⅡ	演	2	4	後	必修			
教職科目	教育原理	講	2	2	前	—	必修	必修	
	教職入門	講	2	1	後	—	必修	必修	
	教育経営論	講	2	2～3	後	—	必修	必修	
	教育心理学	講	2	1	後	—	必修	必修	
	特別支援教育概論	講	2	2～3	後	—	必修	必修	
	教育課程の意義と編成	講	2	2～3	後	—	必修	必修	
	道徳教育の理論と方法	講	2	3	後	—	必修		
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	講	2	2～3	後	—	必修	必修	
	教育方法の理論と実践	講	2	2～3	前	—	必修	必修	
	ICTを活用した教育の理論と方法	講	1	2～3	前	—	必修	必修	
	生徒指導・キャリア教育の理論と方法	講	2	2～3	前	—	必修	必修	
	教育相談の基礎と方法	講	2	3	後	—	必修	必修	
	教育実習指導	演	1	3	後	—	必修	必修	
	中学校教育実習	講	4	4	前	—	必修	1科目	
	高等学校教育実習	講	2	4	前	—		選択必修	
	教職実践演習（中・高）	講	2	4	後	—	必修	必修	
	介護等体験	講	1	3～4	前後	—	必修		
	Academic English Writing	講	2	1	前	—			
	Academic English Reading	講	2	2	前	—			
	Integrated Academic English I	講	2	3	前	—			
	Integrated Academic English II	講	2	3	後	—			
	英語科教育法Ⅰ	講	2	2～3	前	—	必修	必修	
	英語科教育法Ⅱ	講	2	2～3	後	—	必修	必修	
	英語科教育法Ⅲ	講	2	3～4	前	—	必修	必修	
英語科教育法Ⅳ	講	2	3～4	後	—	必修	必修		

北海道文教大学学則 第23条第4項

別表第4 教育職員免許状所要資格取得のための教育科目

(1) 教育の基礎的理解に関する科目等

区 分	授 業 科 目	単位数	配当年次 及び学期		免許区分		
					中学校	高等学校	栄養教諭
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理	2	2	前	必修	必修	必修
	教職入門	2	1	後	必修	必修	必修
	教育経営論	2	2～3	後	必修	必修	必修
	教育心理学	2	1	後	必修	必修	必修
	特別支援教育概論	2	2～3	後	必修	必修	—
	特別支援教育基礎論	1	2～3	前	—	—	必修
	教育課程の意義と編成	2	2～3	後	必修	必修	必修
道徳、総合的な学習の 時間等の指導法及び生 徒指導、教育相談等に 関する科目	道徳教育の理論と方法	2	3	後	必修		必修
	特別活動・総合的な学習の時間の 指導法	2	2～3	後	必修	必修	必修
	教育方法の理論と実践	2	2～3	前	必修	必修	—
	教育方法論	1	2～3	前	—	—	必修
	ICTを活用した教育の理論と方法	1	2～3	前	必修	必修	必修
	生徒指導・キャリア教育の理論と 方法	2	2～3	前	必修	必修	必修
	教育相談の基礎と方法	2	3	後	必修	必修	必修
教育実践に関する科目	教育実習指導	1	3	後	必修	必修	—
	事前事後指導	1	4	前	—	—	必修
	中学校教育実習	4	4	前	必修	1科目選択 必修	—
	高等学校教育実習	2	4	前	—		—
	栄養教育実習	1	4	前	—	—	必修
	教職実践演習（中・高）	2	4	後	必修	必修	—
	教職実践演習（栄養教諭）	2	4	後	—	—	必修
大学が独自に設定する 科目	介護等体験	1	3～4	前後	必修		—

(2) 教科及び教科の指導法に関する科目

英 語

区 分		授 業 科 目	単位数	配当年次 及び学期		免許区分	
						中学校	高等学校
教科に関する 専門的事項	英語学	Introduction to English Linguistics	2	2	前	必修	必修
		English Linguistics	2	3	後		
		英文法研究	2	3	前	必修	必修
	英語文学	English Literature I	2	2	前	必修	必修
		English Literature II	2	2	後	必修	必修
	英語コミュニ ケーション	ことばと心理 (外国語学習法入門)	2	1	前	必修	必修
		English for Study abroad	2	1	後	必修	必修
		Basic Oral Communication	2	1	前	必修	必修
		English Written Communication I	2	1	後	必修	必修
		Networking Communication	2	1	後		
		World Englishes	2	2	前		
		English Written Communication II	2	2	後		
		English Reading	2	2	後		
		English for workplace communication I	2	3	前		
		English for workplace communication II	2	3	後		
		English for Tourism Hospitality	2	1	前		
		Academic English Writing	2	1	前		
		Academic English Reading	2	2	前		
		Integrated Academic English I	2	3	前		
	Integrated Academic English II	2	3	後			
異文化理解	異文化接触論	2	1	前			
	異文化理解論	2	1	後	必修	必修	
	異文化コミュニケーション論	2	3	前	必修	必修	
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を 含む。)	英語科教育法 I	2	2～3	前	必修	必修	
	英語科教育法 II	2	2～3	後	必修	必修	
	英語科教育法 III	2	3～4	前	必修	必修	
	英語科教育法 IV	2	3～4	後	必修	必修	

(3) 栄養に係る教育に関する科目 (略)

(4) その他、教育職員免許状取得に要する科目

授 業 科 目		単位数	配当年次 及び学期		免許区分		
					中学校	高等学校	栄養教諭
日本国憲法	日本国憲法	2	1	後	必修	必修	必修
体育	生涯スポーツ I	1	1	前	必修	必修	必修
	生涯スポーツ II	1	1	後	必修	必修	必修
外国語コミュニケーション	英語 I	1	1	前	—	—	必修
	英語 II	1	1	後	—	—	必修
	English I (Speaking & Listening)	1	1	前	選択必修 A	選択必修 A	—
	English II (Reading & Writing)	1	1	後			
	中国語入門 I	1	1	前	選択必修 B	選択必修 B	—
	中国語基礎 I	1	1	前			
情報機器の操作	情報処理	2	1	前	必修	必修	必修